

喜多郡地誌略

完

緒言

今ヤ庠序ノ教大ニ興リ、地理ノ書ヲ講スルモノ、亦隨フテ多ク往クトシテ、兒童カ巴理ノ壯麗ヲ談シ、龍動ノ繁昌ヲ話スルヲ、聞カザルナキニ至レリ、然レモ之ニ問フニ、近郷ノ地勢、及ヒ郡内ノ村名ヲ以テセバ、一モ答フル所ヲ知ラサルモノ、如シ、嗚呼誰カ其ノ本ヲ舍テ、末ニ走ルヲ笑ザルモノアラム、余之ヲ憂フルコト、茲ニ年アリ、故ニ諸書ヲ参考シテ、此書ヲ編シ、專務監視二宮氏、及ヒ外一二氏ノ改竄ヲ丐ヒ、以テ世ニ公ニス、庶幾ハ郡内ノ風俗、之ニ就テ講習シ、以テ本郡地勢ノ大略ヲ了シ、併セテ近郷諸村ノ地名ヲ記ス

ルコトヲ得ハ、所謂近キヲ後ニシテ、遠キヲ先ニ
スルノ謗ヲ免レ、ユトヲ得ムカ、然レ元謝劣無
識、加フルニ勿々ノ際、選スル所ナルヲ以、文字ノ
妥當ヲ欠ギ、事蹟ノ錯謬ニ涉ルハ、萬免レサル所
ナリ、大方ノ君子幸ニ叱正ヲ惜ム勿レ

明治十三年十月

藤岡 清識

例言

一本郡往時ヨリ城墟ト唱フルモノ百有餘所ノ多キニ至
ル是レ固ヨリ咸ク城墟ト名クベキモノ、跡ニアラズ
ト雖モ古人ノ傳フル所敢テ改ムベカラズ故ニ暫ク城
墟ト書ス而シテ其悉ク之ヲ載セザルモノハ煩ヲ厭フ
テナリ
一橋梁津渡其他社寺學校山川等應ニ記スベキモノニシ
テ之ヲ記サ、ルモ亦右ニ同シ讀者之ヲ諒セ
一戸數人口ノ如キハ殊ニ大數ヲ掲クルモノナレバ或ハ
少差ナキヲ保セズ

喜多郡地誌略

總論

本郡ハ、伊豫十八郡ノ一ニシテ、東北ハ、上下浮穴郡ニ接シ
西南ハ、東西宇和郡ニ交リ、西北ノ一方燧灘ニ臨ム、南北稍
長ク、東西稍短シ、其形桑葉ノ少シク蠶食ヲ受ケタルモノ
ニ似タリ、北方海上別ニ一島アリ、之ヲ青島ト稱ス、脰川ハ
國中第一ノ大河ニシテ、舟楫ノ通スルコト十三里、蜿蜒屈
曲シテ、北燧灘ニ注ギ、河口青島ト相對ス、其狀恰モ一蛙ノ
小蛙ヲ逐フテ、僅ニ及バザルモノ、如シ

全郡、山嶺重疊、山脈蜘蛛網ノ如シ、道路險隘ニシテ、人烟稠
密ナラズ、田圃モ亦多クハ、山腹ニ在リ、只中央ハ聊平夷ナ
リ、東西里程凡九里餘、南北里程凡十里餘アリ

氣候ハ、寒暖宜シキヲ得、郡内各所大異ナシト雖ヒ、亦小差ナキ能ハズ、廣瀬。河邊。二郷ノ如キハ、之ヲ平。久米。等ノ諸郷ニ比スレバ、花時。後ル、コト十數日、嚴寒ニ至ツテハ華氏寒暑鍼、三十度内外ニ至ル

全郡ヲ大別シテ、六郷トシ、又之ヲ小別シテ、四町八十一村一島トス、) 數壹萬五千餘、人口六萬八千餘アリ

- 久米郷 二町 十四村
- 平郷 一町 十三村
- 栗津郷 一町 十六村
- 河邊郷 十九村
- 伊賀崎郷 十六村
- 廣瀬郷 三村

青島

久米郷

本郷ハ、郡ノ西南方ニアリテ、鈍角ヲ爲シ、南ハ東宇和郡ニ堺シ、西ハ西宇和郡及ビ、栗津郷ニ隣リ、東ハ河邊郷ニ接シ北ハ平郷ニ交ル、中村。五郎。阿藏。高山。大洲。柚木。北只。黒木松尾。野佐來。稻積。長谷。久保。正信。ノ十四村及ビ、大洲。常磐ノ兩市街有リ、大洲ハ、肱川ノ南岸ニ傍ヒ、運輸、便利ニシテ百貨日々ニ輻輳ス、本町。中町。末廣町。塩町。肱町。等ヲ以テ一街衢ヲ爲シ、戸數八百餘、人口三千二百餘アリ、國中屈指ノ名邑エシテ、郡中第一繁盛ノ地ナリ

神樂山ハ、市街ノ東隅ニ在リテ、臥龍ノ碧潭ニ臨ミ、如法寺山ト相對シ、大洲市街ヲ瞰シ、稍風致アリ、此地舊ト楚剗タ

リガ、明治維新ノ際一社ヲ鎮シ名ケテ久米神社ト云フ
龍護山。大禪寺。壽永寺。法華寺。清源寺。等ハ、市街ノ西南隅、
花瀬山ノ麓ニ散在ス

大洲町ヨリ、常磐町ニ至ルノ間ヲ、渡場ト云フ、元小舟ヲ以
テ、行人ヲ通セシガ明治年中、舟橋ヲ架シテ、往來ニ便ス之
ヲ浮龜橋ト稱ス

郡役所。警察署。肱南小學校ハ、大洲市街ノ西端ニ列在シ區
裁判所及ビ、共濟中學秋成小學ノ二校ハ、舊城廓内ニ在リ
舊大城（一ニ龜ケ）城ト云フハ、塙塹二重ニシテ、二面ヲ環リ、南方花瀬
山ニ向ヒ。東北ノ一方ハ。直ニ肱川ノ清流ヲ受ケ、規模堅固
ナリ、弘治以前宇都宮氏世々之ニ住シ天正以後、戸田。藤堂
脇坂ノ三氏更ル之ニ居リ。元和三年ニ至リ、幕府。加藤左近

太夫貞泰ニ賜ヒシヨリ、二百六十餘年ノ居城タリ、維新革
命ノ時、加藤泰次（一ニ龜ケ）脈籍ヲ奉還スルノ後城亦廢頽ニ屬シ僅ニ
天主閣ヲ存セリ、明治九年ニ至リ此ニ神宮分教會社ヲ設ク
常磐町ハ、肱川ヲ隔テ、大洲ノ北ニ在リ、中村ハ常磐町ヲ
挾ミ、土壤肥沃頗ル茶蔬ノ産ニ富ム、五郎。阿藏ノ二村モ亦
肱川ニ傍ヒテ、豐饒ナリ
高山村ハ、阿藏村ヲ隔テ、大洲町ノ西ニアリ、地勢嶮峻民
家。皆山腹ニアリ、眞ニ村名ニ背カズ。玉川ハ五郎村ニ在リ
曩昔、舊藩主ノ遊園タリシヲ以テ、松翠楓紅、櫻花珠ニ聞ユ
景色幽雅、觀ルニ足ルモノアリシガ、今ヤ大ニ舊模ヲ損セ
リ
八幡宮ハ、阿藏村ノ東北端。肱川ノ西岸ニ在リ、古木翁翁ト

シテ、甚幽静ノ地ナリ。太郎宮ハ、大洲村ニ。総社宮ハ中村ニ在リテ、其ニ郷社タリ。

尾中城ノ古跡ハ、阿藏村ニアリ。弘治年間。大洋賀某之ニ居リシト云フ。

花瀬山ハ、大洲北只ニ村ノ間ニ在リ、其最高ノ所ヲ、豊ヶ森ト稱ス。古録田某ノ籠ル所ト云フ。

松森城墟ハ松尾村ニ在リ、古へ松浦某之ニ居レリト云フ、此他城跡ト囁フルモノ郷内數ヶ所ニ散在セリ。

如法寺山ハ、田ノ口。菅田。柚木ノ三村ニ跨ル其形容、不二山ニ似タルヲ以テ一ニ富士山ト稱ス。

如法寺其半腹ニ在リ。

梁瀬山ハ、松尾大竹兩村ノ間ニ在リ、其山脉ハ河邊郷梅川村ノ高島ニ延キ、一曲シテ鳥坂峠ヨリ、陳ヶ森ニ至リ、更ニ

繞リテ、花瀬山ニ列ル其形、恰モ箕ニ似タリ、北只及ビ、外七村皆

其中ニ在リテ別ニ一郷里ヲ爲スモノ、如シ、故ニ稱シテ南八ヶ村ト

云フ。八ヶ村中、北只村ハ稍平坦、餘ハ皆險峻ノ山村ニシテ、人家

大率山腹ニアリ。

カサトミ

嵩 梅川ハ、源ヲ梅川村ノ高島ニ發シ。北只村ニ至リ稍積村ヨリ發スル一流ト合シ、楠木村ヲ歷テ、肱川ニ注グ。

宇和島往還ハ、東宇和郡ヨリ、本郷久保ニ入り鳥坂峠ヲ越エ本

郷ノ南端ヲ横斷シ、大洲市街ヲ歷テ、平郷ニ通ズ。久保村ヨリ。北

只村ニ至ルノ坂路、殆ト二里餘路傍悉ク松アリ、三伏ノ候、旅人涼ヲ取ル。

平郷

西ハ粟津郷ニ交リ、北ハ下浮穴郡ニ按シ、南ハ久米、河邊ノ二郷ニ

東ハ伊賀崎郷ニ界ス。郷ノ中央ヨリ、西北燧灘ニ向テ延キ。一方ハ南大洲ニ向テ延ク、其形容稍半靴ニ似タリ、而シテ若宮。山ノ口。徳ノ森。市木。新谷。喜多山。藤繩。戀ノ木。柳澤。田處。手成。戒川。今坊。ノ十三ヶ村及ビ新谷市街アリ

坪上(一ニ壺神ニ作ル)山ハ新谷市街ノ西南ニ位レ手成戒ノ川田所等ノ數村ニ跨リ、出石山ト相對シ、其高低モ亦相伯仲ス其山脉ハ、東南宇山權現山ニ連ル

矢落川ハ坪上山ノ北麓ヨリ發シ新谷ノ市街ヲ穿リ、西南ニ流レテ肱川ニ入ル、此川以北ハ、山巒重疊、平地ナク、八畑田圃皆山ニ在リ、以南ハ稍平坦、夏日水潦大ニ至レバ、肱川ノ水漲溢シテ、田野素景ヲ沒シ、忽黃海トナリ。膏腴ノ泥土ヲ遺シテ去ル。吾郡ナイルカ泥祿河。豈其地ナシトセンヤ但其小ナルヲ以テ殊ニ顯レザルノミ

新谷ハ郷ノ中央。神南山ノ西麓ニ在リ、郡中ノ名邑ニシテ、矢落川其ノ東南ヲ流レ、大洲ヲ距ルユト二里餘、長濱ニ遠ザカルユト四里許、戸數二百五十餘、人口九百四十餘アリ

舊新谷藩邸ハ市街ノ西ニ在リ、往昔舊大洲藩主。加藤貞泰ノ二男直泰ヲ分封センヨリ明治維新ニ至ルマデ二十餘村ヲ領シ、累葉之ニ居レリ、今ヤ小學校ヲ新築シ名ケテ令教ト云フ

神南山ハ、郷ノ東隅郡ノ中央ニ聳ヘ、其山脉東南ニ連接シ、成能。大久喜ノ二村ニ盡ク

建速宮ハ新谷市街ノ東北、數町ニ在リテ、素盞鳴尊ヲ祀ル。俗ニ金比羅山ト云フモノ是ナリ

靈臺ハ、舊新谷藩邸ノ南ニ在リテ、市街以南ノ田圃ヲ蔽レ、夏日ハ殊ニ涼風アリ、明治維新ノ後和靈分社ヲ設ク

大恩寺及ビ、外數ヶ寺ハ、市街ノ東北方ニ散在ス。大洲ヨリ、新谷ニ通スルノ街道ハ、電信線ト並行シテ、殆祇ク如シ、本郡中、車輪ノ往來スル、此路ヲ以テ第一トス。

西禪寺ハ、手成村ニ在リ、昔時瀧ノ城主、津、喜屋某ノ開基ナリト云フ。

粟津郷

本郷ハ海ニ瀕スル部分ニシテ西北ノ二方ハ悉ク燧灘ニ面シ、東ハ平郷ニ接シ、南ハ久米郷ニ交ル其形容、恰モ松ノ葉ノ如ク、南北ニ長クシテ、東西ニ短シ、地勢概テ峻峻、平地尤モ少レナリ、黒ノ田。上老松大越。加屋。米津。八多喜。春賀。東宇山。多田。柴。下須戒。穂積。豊茂。上須戒。出海。榎生。ノ十六ヶ村及ビ長濱ノ一市街アリ。

出石山(古、矢野神山ト云フ)ハ、郷ノ南隅。豊茂村ト。西宇和郡。日

土村ノ塚ニ在リテ坪上山ト相對ス。頂上ニ寺アリ、出石寺ト云フ。

豊茂川ハ、出石山ヨリ發シ、穂積。下須戒ノ二村ヲ歴テ、肱川ニ入ル。

長濱ハ、黒ノ山村ノ西方、肱川ノ口ニ在リテ、伊豫二十餘港灣ノ一ナリ、汽船日々ニ出入シ、小舟ノ幅湊スル、幾何ナリト知ラズ、運輸殊ニ便利ニシテ、漸ク繁盛ニ赴ケリ。今ヲ距ルコト十數年、波止ヲ此ニ築キ、以テ碇泊ニ便ス。

此地梵刹多シ、長久寺及ビ、外數ヶ寺。各所ニ散在セリ。

多田。春賀。八多喜。下須戒。等ノ諸村ハ、肱川ニ沿ヒ、郷中稀有ノ平土ナリ。

加屋村ニ瀑布アリ、加屋ノ瀧ト云フ、古來詩歌其勝ヲ稱ス。

粟津森神社ハ、八多喜村ニ在リテ、肱川ニ臨ミ、綠蔭鬱蒼、祀ルニ

素盞鳴尊ヲ以テス

龍ノ城ハ、米津村ニ在リ。今ヲ距ルコト五百餘年。津、喜屋氏數代之ニ居レリト云フ。

平松城ノ古跡ハ、春賀村ニ在リ。天文年間。源之照、之ニ居リシガ久万山城主、大野直家ノ爲ニ、滅セラレト云フ。此他大陰。及ビ外敷城墟、各所ニ散在セリ。

東門寺ハ、同村ニ在リ。祖母井氏(源之照ノ氏)ノ菩提所アリシト云フ。

河邊郷

本郷ハ本郡中ノ僻郷ニシテ、東ハ上浮穴郡ニ接シ、南ハ東宇和郡ニ界シ、西ハ肱川ヲ畫リ、北ハ廣瀬。伊賀崎。平ノ三郷ニ交ル、地勢曲長恰モ尺蠖ノ屈ムガ如シ、大竹。菅田。宇津。梅川。藏川。森山。大谷。宇

和川。名荷谷。中居谷。北表。山鳥坂。植松。中津。椽谷。川崎。横山。宮ノ谷。只海。ノ十九ヶ村アリ。

河上川ハ上浮穴郡河上村ヨリ發シ、植松村ニ至リ、植松川トナリ、肱川ニ注グ。

五在所山ハ、郡ノ東南ニ在リ、西ニ山脉ヲ引キ、郡界ヲ限リ、鳥坂峠ニ連亘ス、山中(乃チ大谷村)ニ瀑布アリ、飛懸二十丈餘、世人之ヲ多留瀑ト稱ス、頗ル美觀タリ、上下轟ノ瀑モ亦此麓(乃チ大谷村)ニ在リ、共ニ有名ノ瀑布ニシテ、其下流悉ク肱川ニ入ル。

美砂田瀧ハ、宇和川村ニ在リテ、其名聞ユ、下流亦肱川ニ注グ。坂石川ハ、源ヲ本郡久保正信ノ二村ニ發シ、一ハ東宇和郡大野山ノ西、關地池ヨリ來リ、東多田村ニ會シ、西南ニ環流シ、諸谿水ヲ集メ、同郡神領村ニ至リ、更ニ東ニ流レ、長谷川ヲ併セ、野村市

街ノ東南ヲ繞リ、亦高瀬川ヲ合セテ。坂石。栗石。二村ノ間ニ至リ
黒瀬川ト會シ。大河トナリテ西北ニ向ヒ。本郡ニ入ル。脰川是ナリ
其他細流ノ此川ニ注クモノ頗ル多シ
河邊川ハ、上浮穴郡北平。河上等ノ諸村ヨリ發シ、山鳥坂村。宇
鹿ノ川ニ至リ坂石川ニ會ス
耳取峠ハ、北表村ニ聳立シ神南山ト相對ス
郷中菅田。宇津ノ二村ハ稍平夷ナリ
三島神社ハ北表村ニ宇都宮社ハ、菅田村ニ在リテ共ニ郷社タリ
溪壽寺ハ宇津村ニ正傳寺ハ、菅田村ニ在リ
鐵懸ハ。川崎。官ノ谷等ノ數村ニ跨ル高山ニシテ其山脈ハ、兩方ニ
延ビ一ハ耳取峠ニ連リ一ハ北方大瀬嶺ニ亘ル
古城墟ト稱スルモノ最モ多ク龍王城及ヒ外十數墟郷内各所ニ

散在セリ

伊賀崎郷

東南北ノ三方ハ、河邊。廣瀬ノ二郷ニ交リ、西ハ上浮穴郡及ヒ平
郷ニ堺ス。地勢南ヨリ北ニ延キ。東西ニ稍狹シ。其形容恰モ馬ノ片
足ノ如シ。北方ハ乃蹄ニシテ其蹠ヨリ以上ハ。南方ニ向ヘリ。古田。
大久喜。福岡。宿間。成庇。重松。平岡。知清。内ノ子。五百木。城廻
川中。立山。論田。河ノ内。袋口。ノ十六村アリ
内ノ子ハ、大洲ヲ距ルユト三里餘、脰川ノ西岸ニ在リ、人烟稠密ニ
シテ、戸數五百餘、人口二千一百餘、一市街ヲナス。小舟脰川ニ
上下シ、全郡ノ產物多ク茲ニ輸送シ市街ノ繁昌大洲ニ亞グ。其南
僅ニ十數丁ヲ隔テ、五十崎アリ小市街ヲ爲セリ
高島寺。磯畑村ニ在リ。昔時、曾根城主曾根氏ノ菩提所ナリシ

ト云フ

只海河ハ廣瀬郷。大瀬村ヨリ發シ、只海村ヲ歷テ肱河ニ注グ
宿間。平岡。重松。古田。等ノ諸村ハ肱河ニ沿ヒ平坦ノ地ナリ

泉川(立山村ニテハ立山川ト云)ハ源ヲ上浮穴郡中川村ニ發シ、佐
禮谷川ト會シ、中山出淵。二村ノ間ヲ過キ、西南ニ奔流シテ、五百

米城廻。二村ノ間ニ至リ、袋白川及ビ小田川ト會シ肱川ト爲ル
宇都宮神社ハ、古田村ニ、三島神社ハ、川中村ニ在リテ、共ニ郷

社タリ

ハクビ山ハ、論田村ニ屹立シテ、坪上山ト相對ス。五百木村ニ坂
路アリ、石浦ト云フ。是ヨリ大瀬村ニ通シ、小田久万山等ニ至ルノ

要路ナリ

古田平岡二村ノ間ニ架スル所ノ橋、長五十間餘之ヲ豊秋橋ト云

龍王城ノ古跡ハ、古田村ニ在リ、往時、伊賀崎某之ニ居リ、曾根
城ハ、城廻村ニ在リテ、曾根某ノ籠居セシ所ト云フ、其他城墟ト
稱スルモノ數ヶ所ニ散在セリ

廣瀬郷(一名中山郷)
或ハ曾根郷)

東北ノ二方ハ上下浮穴郡ニ接シ、西南ノ三方ハ伊賀崎郷ニ接ス
中山。村前。大瀬ノ三村其申ニ在リ。全郷多クハ山嶺ニシテ人烟
田圃大率山中ニ散在ス

中山ハ郡中ノ大村ニシテ、最北隅ノ山間ニ在リ、人烟稍密ニシテ
一市街ヲ爲ス、其西南泉川ニ沿ヒテ、丙子ニ通スル一路アリ、世俗
川中三里ト稱ス

大興寺及ビ外數ヶ寺ハ、同村(乃中山村ヲ云)各所ニ在リ、三島脚
社モ亦同村ニ在リ、一ニ梅原社ト稱ス

大瀬モ亦大村ニシテ、幅員甚ダ廣シ村中ヲ十二組ニ分テ、人家六百餘アリ、小田川其中央ヲ流レ、兩岸恰モ絶壁ノ如シ、沿岸一條ノ通路アリ、乃チ内ノ字ヨリ石浦ヲ經テ、小田ニ通スルノ要路トス。世俗之ヲ大瀬ガ谷ノ往還ト云フ。

成留谷ハ、大瀬村ノ中央ニ在リテ、小田川ニ傍ヒ、軒簷十數ヲ列ヌ之ヲ成留谷ノ出店ト稱ス。

小田川ハ、源ヲ上浮穴郡上川村ニ發シ、大瀬村梅津ニ至リ、同郡白木村ヨリ發スル白木川ト合シ、村前五百木ニ村ノ間ヲ過ギテ、肱川ニ入ル。

根笹峠ハ、上浮穴郡出淵村ト大瀬村ノ間ニ在リテ、一條ノ通路アリ、兩村來往ノ要路トス。

國木峠ハ、大瀬嶺ノ西方。村前村ニ在リテ、路五十崎ニ通ズ。

雨山城及ビ其他數城墟郷内ニ散在セリ

青島

青島ハ長濱ノ北方。海上三里ニ在リテ三角形ヲナシ周回一里餘人口百餘アリ。

全郡彼ノ所謂山ヲ鑄。海ヲ煮ルノ産ナシト雖モ、其出ス所ハ。米麥。菽黍。絲麻。綿花。楮紙。砂糖。烟草。藍。櫃實。晒蠟。茶及ビ。魚類。果實。菜蔬。薪炭。等アリテ、凡人世必需ノ品物、概チ備ハラザルハナシ、勉メテ富ヲ致ス、豈難キノ地ナラムヤ。

明治十三年十月五日板權免許 定價金八
同 十四年二月八日出版

著者兼出版人

愛媛縣士族

藤岡清

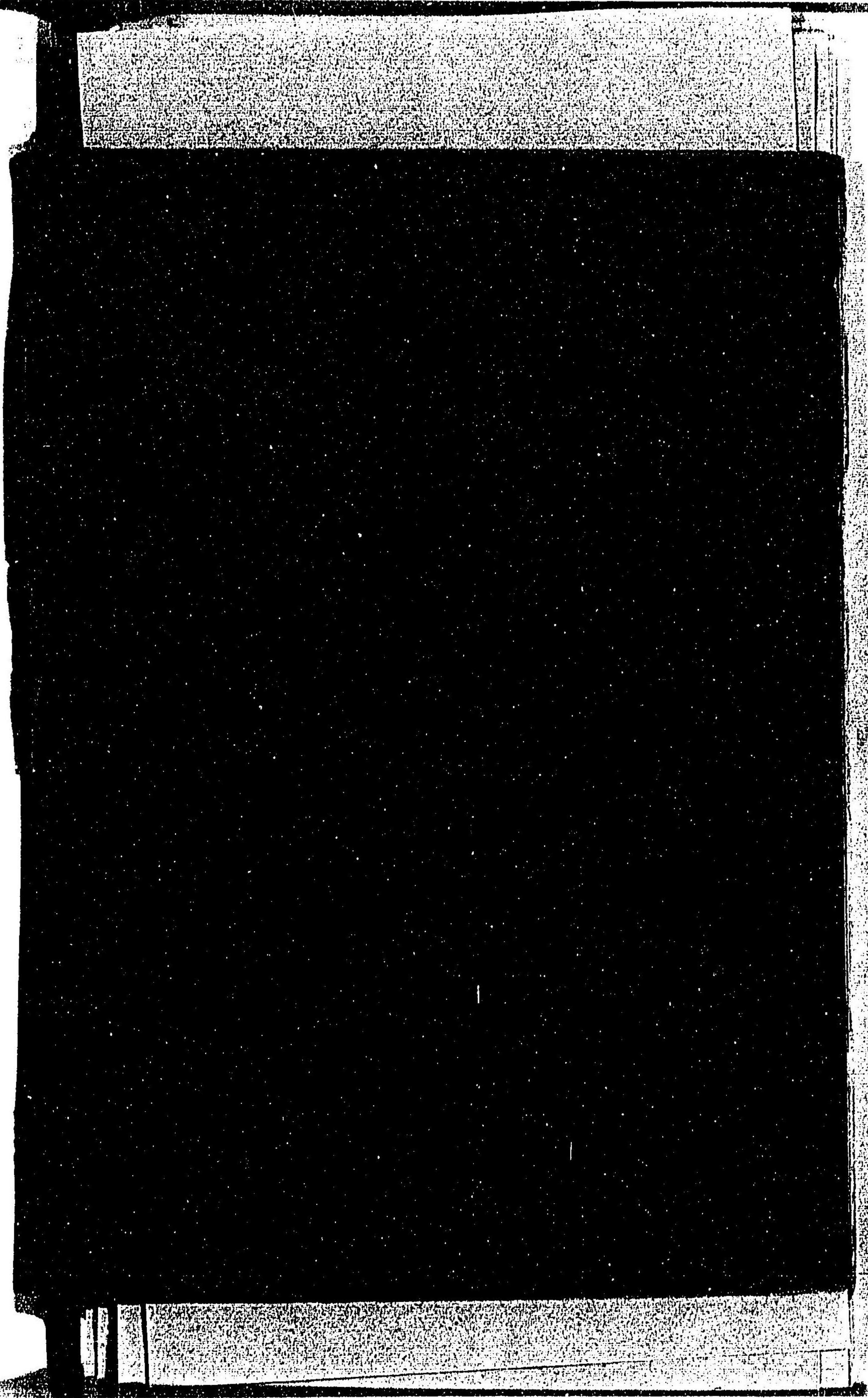
喜多郡北只村六百
四十壹番地居住

同

發兌人

中野ミツ

全上 中村殿町



特67
359

026060-000-2

特67-359

喜多郡地誌略

藤岡 清/著

M14

ADC-3713

